

知行合一

学校教育目標

潤いと輝きにあふれる学校

芦北町立田浦中学校
学校だより 第24号
令和2年1月22日
文責 校長 畑口益喜

朝ぼらけ 有明の月と見るまでに 吉野の里に 降れる白雪
坂上是則 (百人一首 31)



1年生水俣病学習(講話)

1年生は、水俣の輝きを日本全国のみならず世界に発信されている松本さん、森下さんを講師に水俣病学習を行いました。

松本和也さんは、水俣市薄原で農薬や化学肥料を一切使わずにお茶の栽培をされ、水俣の紅茶四天王の一人として活躍されています。「**桜野園**」の名

付け親は徳富蘇峰氏だそうです。「他県でお茶の販売をされていて『水俣産です。』と説明したとき嫌な顔をされたことがあった、それはその人が水俣のことを正しく知らないからなんだ。」と思ったと言うお話が心に残りました。学ぶことの大切さ、発信することの大切さ。生徒の次の学習につながるお話でした。



森下誠さんは、他県で17年間ダイビングの仕事に就かれた後に帰郷し開業されました。社名である「**水俣ダイビングサービス SEA HORSE**」の由来についての「『水俣』を名前に入れたかった。」「調査で潜った水俣の海の美しさと、そこで出会ったタツノオトシゴに感動した。」というお話に故郷への強い思いを感じました。「さかなクン」ともしばしば一緒に潜られているとのことで、その様子が5月頃放送される予定だそうです。水俣の海の写真や動画をたくさん見せていただき、生徒は食いつくように画面に見入っていました。

私もお二人とは同世代で、高校生・大時生時代に同じような体験をしており、重ね合わせながら自分にできることを考えました。

人権教育研修会

15(水)、田浦・湯浦の5小中学校の先生方が集まり研修会を開きました。本田先生と坂本先生の授業をもとにした研究協議では、差別問題を自分



事として捉えることができるようにするにはどうすれば良いかについて意見が交わされました。

2月 如月 February 入試シーズン到来。インフルエンザ予防の徹底を図りましょう!

2日(日) 2年生立志式	12日(水) 避難訓練・前期選抜結果通知
3日(月) 公立高校前期選抜	19日(水) ~ 21日(金)
4日(火) 新入生説明会	1・2年学年末テスト
5日(水) ~ 7日(金) 3年学年末テスト	21日(金) 授業参観(道徳:「熊本の心」)
12日(水) 田浦小ICT教育研究発表会	臨時PTA総会(新役員承認他)

心の教室相談員 鬼塚和子先生来校日 3日(月)・4日(火)・10日(月)・12日(水)・17日(月)・25日(火)
スクールカウンセラー 緒方釈先生来校日 24日(金) SC相談窓口は武澤養護教諭です。

【秘密の部屋】 冬休み期間に40話ほど書きましたが、ゴールは遠い…。

【サポート終了】 020116

昭和63年4月、新任教師として初めて西合志南中学校にあいさつに行った日、定年退職される校長先生が、「先生たちも大変ね、これからは昔のごつはいかんでね。パソコンちゅうやつも入ってくる。自分は今年退職で良かった、しきらんとやった。」という話をされました。

当時、学校にパソコンは1台。印刷用紙も両脇に紙送りの穴の空いたものでした。パソコンが得意な先生が、通知表の所見をワープロで打ち、切って貼って渡したときは、ベテランのみならず少し上の先輩の先生からも「何ねこれは、手書きじゃないと愛がなか。」と言われたものでした。当時は入試の調査書も40人分×平均3校を手書きでしたので大変でした。今は筆記具を使って文字を書くことがほとんどなく、たまに手書きをすると腕が上がりなくなります。

14日に「Windows 7」のサポートが終わりました。2学期に学校のパソコンも交換が済んで、「一太郎」はビューアのみ。新たな文書はすべて「Word」か「Excel」で作ることになりましたが、ベテランの先生を中心に恨み節も聞こえます。今日もどこからか「何で勝手に文字サイズのふとなっと！」という声が聞こえてきました。

「一太郎」は文字がきれいに揃うという美しさがあったのに…。「Word」は、ぴしゃ〜っと揃いません。文字により微妙にずれます。それが許せない性格です。「どぎゃんかならんや。」と独り言を言いながらブログを書いています。(H)

【天災は忘れられたる頃来る】 020117

『天災は忘れられたる頃来る』防災科学を語るときに、寺田寅彦氏（科学者で随筆家、熊本第五高等学校在学時代は夏目漱石の生徒）が、しばしば口にした言葉です。

色あせた平成7年の明日の新聞が手元にあります。1面のトップは『死者1456名』『阪神で直下型大地震』『震度6・M7.2』、開くと横倒しになった阪神高速道路の高架の写真。被害の凄まじさが記録されています。2年生の帰りの会で生徒にも見せてもらいました。

午前5時46分頃地震発生。出勤前に見た6時のニュースでは、「地震があったんだなあ」というレベルの理解でした。インターネットがまだまだ普及していない時代です、授業から帰ってきて職員室のテレビで被害状況を知りました。

熊本地震の前震の時は田浦中の職員室にいました。学びは重ねていたつもりでしたが人ごとでした。「まさか」、「ありえない」ことでした。今日はテレビでも特集が組まれています。自分事として見たいと思います。(H)

【啄木鳥】 020122

今日は多くの私立高校で推薦・特待等の入試が行われています。昨日まで作文や面接の練習を重ね、自信を持って今日の入試に臨んだことと思います。ドアをノックして部屋に入る習慣は生徒の日常生活の中でそう多くはありません。面接練習はその場面からスタートします。

ところで皆さんはノックは何回しますか。昔読んだ本には、「日本人は農耕民族なので、畑を耕すときの『イチ、ニ』のリズムが染みついているのでほとんどの人がノックは2回する。欧米人は狩猟民族なので、弓に矢をセットし、引いて、放つ『イチ、ニ、サン』のリズムが染みついているのでほとんどの人がノックは3回する。」とまことしやかに書かれていました。学級でノックをさせると、ほとんどの生徒が2回ノックをするので、その後この話をすると大半の生徒が「なるほど。」と信用しますが、もちろん眉唾物です。

「世界的なマナーでは、2回のノックは、トイレ用。3回のノックは、家族・友達・恋人など、親しい相手。4回以上のノックは、初めて訪れた場所や礼儀が必要な相手。」等と書かれたものもありました。これも根拠がないそうです。

私の感覚としてはドアを4回もノックされると「礼儀が必要な相手と思ってくれたんだね。」ではなく、「あーいた、せからしか。啄木鳥（キツツキ）か。」と言いそうです。校長室のドアはノックをしなくてもよいように、これからは開けたままにしておきます。(H)